

2 漢字辞典の使い方の指導について (4年)

【板書事項】

漢字の成り立ちを知ろう

落・・・植物の葉が落ちる

くさかんむり

渡・・・川を渡る

さんずい

部首の成り立ちを知らば、形が覚えやすい。

漢字辞典で成り立ちを調べてみよう。

日・・・太陽の様子

心・・・心臓の形

など

【指導の流れ】

1 部首の成り立ちを知ることのよさを考えさせる。

「『落』の上の部分(くさかんむり)や『渡』の左の部分(さんずい)を極端に小さく書いてしまう間違いがあります。でも、部首の成り立ちを知らば、漢字の形が捉えやすくなります。『落』『渡』の部首はそれぞれ何でしょう。」

「『落』はくさかんむり」

「『渡』はさんずい」

「くさかんむりは植物と、さんずいは水とかかわりのある漢字が多いですね。『落』は草や木の葉が枯れて落ちる、『渡』は川などを渡るという意味です。だから、それぞれ、くさかんむりとさんずいが使われているのです。意味を考えると、漢字が覚えやすくなりますね。」

2 漢字辞典を使って、部首の成り立ちを調べさせる。

「部首や漢字の成り立ちは、漢字辞典で調べることができます。漢字辞典で成り立ちを調べ、ノートにまとめてみましょう。」
「ノートにまとめた内容を紹介し合いますよ。」

【留意点】

1 間違えやすい形の漢字を提示する。その漢字の部首は何かを問うことで、漢字をパーツに分けて考える視点をもたせる。象形文字など、物の形が部首に変化しているものは成り立ちが分かりやすい。いくつか紹介して関心を高める。

2 漢字辞典では、成り立ちについてのどのように記述されているか全体で確認する。その後、一人一人に関心のある部首を選んで成り立ちを調べさせる。

3 電子黒板や実物投影機などを使って、まとめ方を工夫している児童のノートを紹介してもよい。